

幸運を呼ぶと評判の、ときめきの富士カレンダー!

現代の北斎 ロッキー田中

ときめきの富士

カレンダー 2018

要予約
12/5
×切り

※店頭
入荷中です!



1-2月 紅明



7-8月 緑彩の湖



3-4月 麗春



9-10月 花束



5-6月 里景色



11-12月 初あかり



表紙込み7枚綴り
縦 51.5cmx 横 38cm FSC 森林認証紙 版画調厚紙

価格: 1,944円 (税込)

※社名印刷も承ります (50冊以上) ※

※今回のカレンダーは、例年以上に評判が良いそうです! (ロッキー・アートサロン談)

お申込は、2回目以上 / 初めて (○を付けて下さい)

申込日: 平成 年 月 日

(○を付けて下さい)

お申込部数 2017年版 壁掛 1,944円 × 部

引取り方法: 来店 / 配達 / 発送

住所 〒

電話番号

氏名

ぶんぶん通信

No.4586 17-169 11/3

富士山が教えてくれた幸運の法則 その20

物事は考え方ひとつ

いつもは東京と富士山麓を行ったり来たり、通勤も車だけ、日中は時々電車に乗る必要がある。

ところが駅では決まった光景を目にする。改札口を抜けてホームの階段を登る時、スラップと並ぶエスカレーター待ちの列に出会う。

年齢は関係なし。スマホを持ってうつ向いた人がエスカレーターで運ばれて行く。見る度に貨物車の映像が重なる。

かと思えば階段を普通に、或いは颯爽と二段上がりで進んでいく人が、登っている私を抜いて行く。

お、いいなあ。中々やるね。

かくいう私も昔は楽な道を選んでいて、敢えて体を動かしてみても直ぐに息が切れた。駅のエスカレーターの列に混じっていた自分を思い出す事がある。

ツライ、面倒。さようなら。

「今は未来の姿」という言葉に出会ったのが、考え方を考えるきっかけになった。

何だかいい言葉だなあと、ポスト

カードやカレンダーの背表紙に書き始め、そこから派生と発展をしたメッセージが幾つも生まれた。

今は未来の姿

意識が創る。

今までは明日の為のリハーサル。

美と真理は若さと共に息づく。

未来は今を待っている。

ある時点から考え方を変えた。もしかしたらツライとか面倒とか思うのは、人間だけの考え方じゃないか?



人間の体は大宇宙の凝縮。宇宙に意思はあるけれど、ツライは無い。人間は自然と共に生きている。自然に意思は有るけれど面倒臭いはいない。

雲は湧いて流れて形を変える。

富士山は雨の日も雪の日も晴れの日も堂々と存在している。生きとし生けるものにツライとか面倒臭いはいない。

人間は科学を発展させた。それは見方を変えれば楽になる事の追求。これって自然のリスムの中に無い筈だ。人間だけがツライと面倒という感情を生み出した。

全ては目の前の事実が存在するのみ。それをどう受け止めるかで世界が変わる。

決めれば開く、動けば変わる

そして目の前に起きる事は全て感情を入れず、存在する事実として受け止める事にした。今は未来の姿。10年後も若々しく元気でいようと決めた。



毎朝、近くの八幡様まで歩いて600m。戻って来たらアパートの地下2階に行き、14階まで歩き始めた。途中で一度休み、

屈伸と斜め45度の腕立て伏せをし、最上階でもう一回。朝の楽しみ40分。

最初はキツかった。

ん? これはツライという感情に引きづられてる。だからツライと面倒にさよならした。目の前の事実を淡々と感謝して受け止める事にした。

面白い事が起きた。ツライという感情を抜いたら、楽しみになった。

一歩登る度に体の声が開こえる様に変わって来た。続けて行く内に楽しみになった。出張などで出来ない朝は心残りが出来る。

でもエスカレーターを待つ人の批判はない。それは各々の生き方、考え方。10年後も元気でと心の中でエールを送る。

最近、書く事が多いメッセージ。

「心が世界を創る」

「全ては実現に満ちている」



ときめきの富士
写真家
ロッキー田中
ときめきの富士ロッキーアートサロン
http://www.rocky-fuji.com
http://tokimeki-fuji.stores.jp

現代に蘇った北斎と言われる「ときめきの富士」の写真家。生涯に99作、現在までに89作を発表した。幸運を呼ぶ富士山とされて、多くの人々と共に輝いている。全国に260店を展開するホテルの全ロビーに大きな作品が飾られている。検索はロッキー田中、または、ときめきの富士で。